

消火訓練や避難訓練に参加しましょう

春の火災予防運動期間中は、市内の自治会や事業所、学校などで、防火に関する講話や消火器の取り扱い訓練などを行います。消火訓練を体験していなかった人が、実際の火災で初期消火に失敗し、負傷するケースも多くあります。これらの訓練などに積極的に参加して、一人一人が防火について考え、火災を出さない地域づくりを目指しましょう。



火災による死傷者数の推移

平成20年以降に発生した火災による死傷者数の状況です。亡くなった人の多くは、住宅での火災によるものです。

(単位：人)

	火災による死者数		火災による負傷者数	
		住宅火災での死者数		住宅火災での負傷者数
平成20年	6	6	11	7
平成21年	6	3	13	5
平成22年	9	7	12	8
平成23年	5	3	13	11
平成24年	2	1	9	8

住宅用火災警報器の設置効果があった事例

住宅用火災警報器により火災を早期発見することで、被害を抑えることができ、中には火災に至らずに済んだ事例も多くあります。

設置効果があった事例の件数が年々増加しているのは、住宅用火災警報器設置の義務化に伴い、多くの住宅に住宅用火災警報器が設置されてきたためと考えられます。まだ住宅用火災警報器を設置していない場合は、自分自身や大切な家族を守り、隣近所に火災で迷惑を掛けないためにも、早急に設置しましょう。

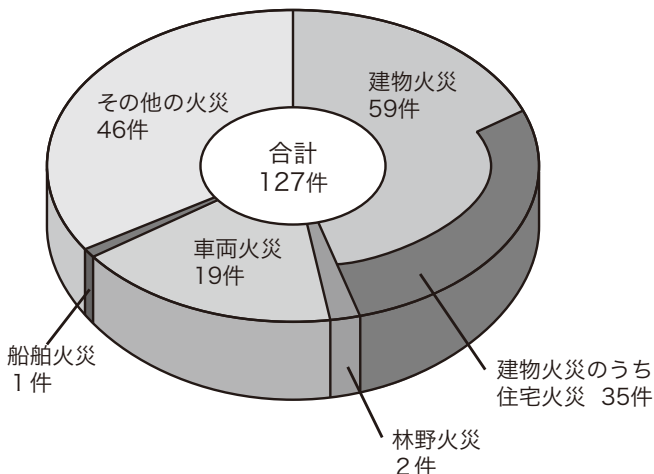


(単位：件)

	設置効果があった事例件数					合計
	火災に至らなかった事例件数	ぼや	部分焼	半焼	全焼	
平成20年	1	0	0	0	0	1
平成21年	1	2	0	0	0	3
平成22年	3	1	1	0	0	5
平成23年	2	3	1	0	0	6
平成24年	5	1	0	1	0	7

平成24年1月から12月の火災概況(津市消防管内)

火災種別ごとの件数



出火原因ごとの件数

(単位：件)

出火原因	全火災における件数	住宅火災における件数
放火・放火の疑い	21	3
たき火	12	0
たばこ	10	6
火あそび	5	0
配線器具	5	3
こんろ	4	4
電気機器	3	1

※不明・調査中、その他を除きます。

本紙のイラストは、総務省消防庁ホームページから引用しました。